

## 第 16 回北上市史編さん委員会（要旨）

1 日 時 令和 5 年 8 月 2 日（水）午後 1 時 30 分～ 3 時 12 分

2 場 所 市役所本庁舎 2 階庁議室

3 出席者

市史編さん委員 9 人、専門委員 3 人、事務局 5 人

4 内 容

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 報告

① 各部会の進捗状況について

各部会の状況について、担当者から説明をした。

② 「資料編古代・中世」付属のDVDの修正について

修正後のDVDを作成し、3月までに寄贈者、購入者に郵送で配付済みであることを報告した。

③ 「資料編近世」の構成について

前回の編さん委員会の意見を踏まえて検証し、目次構成の一部を変更したことを報告した。内容は、「部」をなくし、第1部としていた編年史料を第8章に入れる。また、付録として年表等を入れる。

④ 北上市史執筆要領（通史編）について

3月に決定した通史編の執筆要領について報告した。

⑤ インボイス制度による新編北上市史の販売価格について

今年10月から始まるインボイス制度に合わせて、新編北上市史等の本体価格と消費税額の内訳を決めたことを報告した。

(4) 協議

① 「通史編1 先史・古代・中世」の目次案について

・目次構成案について、専門委員3人から内容についての説明があった。

（専門委員より）

目次案の章立て・節立ては現時点では暫定的なものではあるが、市史に取り上げてほしいことなどがあつたら早めにお知らせいただきたい。

## 【協議事項】

◇目次構成案の表現に統一性があるか。違和感などないか。

◇取り上げる事項について、この内容でよいか。

◇この目次構成で執筆を進めてよいか。

(委員からの意見)

[ 先 史 ] 意見等は特になし

[ 古 代 ]

・古代の「和我」と中世の「和賀」についての話し合いはなかったか。

⇒ 中世というよりは、古代の間でどうするかが問題になる。郡が成立する前を「和我」、成立後を「和賀」と考えているが、古代班会で検討していく。

・「和賀」は古代では不釣り合いな感じもあるので、本文の初めで「和我」と「和賀」の違いを解説してはどうか。

⇒ 解説を入れることを検討する。

・第5章で古代仏像とあるが古代だけでよいのか。中世の仏像は入らないのか。

⇒ 執筆担当からは、古代だけとするのは区分上難しいと聞いている。考察していく上では中世まで扱うことにはなるようだ。北上は古代仏も中世仏も多いところなので担当者と厳選していきたい。

・古代仏像は第5章でいいのか。

⇒ 最初は、古代と中世の仏像両方を書いてもらうようお願いしたが、切り分けが難しいので、中世も含みながら古代仏像を取り上げてもらうこととなった。

・第5章のタイトルについて、古代だけでなく中世につながるようなタイトルを検討してみてもどうか。

⇒ 古代仏が中心だが、中世仏も重要なものは含むとする旨など、選別の基準が最初に説明できたらよいと考えている。

・旧市史で扱った国見山の位置付けと現在の国見山廃寺との違いについて、学史のような解説は入るのか。旧市史では国家仏教としての極楽寺であり、国見山廃寺ではその視点が抜けているように思う。すべて平泉に持っていくのではなく国家とのつながりの視点も入れてほしい。

⇒ 国見山関係は、第4章第3節に入る予定。旧市史の見解も踏まえた上で、その後の研究でどのように変わっていったかを的確に手短かに解説する。

[ 中 世 ]

・「和賀氏」への思い入れが深い地域であることから、和賀氏の地域への貢献、業績にウエイトを置いた書き方をしていただきたい。

⇒ 和賀氏の存在がどういったものだったのか、謎の部分も含めてどこまで書き込めるかを課題としたい。

・北上は藩境を超えると、「葛西」もあるので、北上＝和賀ではない。目次を

見ると北（稗貫）に偏りがちに見える。

⇒ 地域区分は時代によって変わっていくものであるが、その中で和賀氏が中心とはなるが、近辺の諸氏との関連を明らかにできたらと考えている。

・タイトルは流れるよう検討していただきたい。

・各章の最後に仏教文化がでてくるが、この形でいいのか。

⇒ 1つの章で中世の仏教を取り上げることも検討したが、時代ごとに切り分けて入れたほうが読みやすいとのことで章ごとに分けた。

・河野通信はどのように扱われるのか。

⇒ 第4章第3節で扱う予定。資料編でも板碑や一遍上人について取り上げた。

#### 〔 全 体 〕

・タイトルの表現に統一性があるか。

⇒ 中世では、執筆する時点でエレガントな表現にしていく。

#### （結論）

本日協議した内容を取りまとめて、編さん委員会からの意見として結果を担当部班会へ伝える。

#### ② 通史編の構成について（年表・索引など）

##### 【協議事項】

◇「年表」を後付けに入れるかどうか

◇「索引」を通史編各巻に入れるかどうか

◇「まえがき」または「あとがき」を入れるか

（委員からの意見等）

・「年表」に根拠となった文献名を入れたらどうか。

⇒ 資料編と連動させ、掲載した資料番号を入れる方法もある。体裁については検討する。

・「索引」は別冊で作成するのか。別冊を作っている自治体はあるか。

⇒ 仙台市史は本編に入れたほかに別冊もある。使い勝手は本に入っている方がいいとは思いますが、作成に時間がかかることから難しいと思う。

・「索引」をホームページで公表とあるが、DVDのようになるのか。

⇒ 紙でも出せるし、ホームページでも見られるよう、両方用意する。

必要な方には郵送で送ることもしたい。

・刊行後に索引ができることのアナウンスが必要。

・市史関連のホームページ機能を充実させることで対応できないか。スピード感が重要だと思う。利用する人にとって便利で、検索性があることが大切。

⇒ ホームページがいいのか、データベースを組んでやる方がいいのか、手法は研究させていただきたい。

(結論)

「年表」は各巻の巻末に入れるが、記載方法は巻ごとに決定する。

「索引」は巻末には入れずに、3巻すべて刊行した後に3巻分をまとめた「索引目録」を無料配布かつホームページ等で公表する。

「まえがき」「あとがき」は入れない。

③ その他

◇編さん委員の欠員補充について

欠員の補充はしない。(北上市史編さん委員は9人とする)

(5) その他

なし

(6) 閉会